

箱根 小田原 商工

会議所報

令和 6 年 9 月 (毎月 1 回20日発行)

1 部50円(会員の購読料は会費に含まれています。)

発行所 小田原箱根商工会議所 〒250-0012

神奈川県小田原市本町4-2-39

TEL 23-1811

https://www.odawara-cci.or.jp/

編集兼発行人 古川 正治

印刷 (有)石橋印刷



小田原市・箱根町へ 令和7年度 予算・政策に関する 要望書を提出しました

8月21日、鈴木会頭は、勝俣箱根町長へ令和7年度箱根町予算・政策に関する



加藤小田原市長へ
要望書を手交する
鈴木会頭 (8/30)



勝俣箱根町長へ
要望書を手交する
鈴木会頭 (8/21)

要望書を、8月30日には、加藤小田原市長へ令和7年度小田原市予算・政策に関する要望書をそれぞれ提出しました。

箱根町への要望の内容は、「伝統工芸の担い手に対する一層の支援について」「燃料費高騰によるコスト上昇分の補填となる支援施策の実施について」「伊豆湘南道路の早期具現化について」等の4項目となっております。

小田原市への要望内容は、ア州では「2035年までにガソリン車の新車販売を廃止する」という方針を打ち出しています。販売台数のうちクリーンビークル(電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車)の比率(2021年末現在)は全米7.5%でカリフォルニア州は38.7%と群を抜いています。2位はフロリダ6.6%、3位はテキサス5.6%(参考JETRO)

「(参考)JETRO」ちなみに日本では0.9%(2021)です。しかし、ロスアンゼルスでは前回訪問した一年半前には非ガソリン車がずいぶん多いと感じましたが、今回はその時と比べてあまり増えた印象がありませんでした。ガソリン車はあまり減っていません、クリーンビークルの中はEVよりハイブリッドが増えている印象でした。[Drill Baby Drill(化石燃料をもっと掘れ!)]と叫んでいる人が再選されかねない11月の大統領選挙の趨勢を待って様子見をしている人が多いのかどうか分かりませんが、

「工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援と創業支援や後継者育成における連携、工芸技術所の更なる機能強化についての働きかけについて」「民間建築物小田原産木材利用促進事業費補助金の予算額拡充について」「市内製造業等の拡大再投資への支援策について」等の19項目となっております。

今後、当所は、会員の皆様がこの地域で経営がしやすい環境となるよう各種団体への要望活動を積極的に実施していきます。

【お問合せ】
小田原箱根商工会議所
経営支援部
☎0465(23)1811

小田原市議会正副議長・ 常任委員会正副委員長と 正副会頭・部会長との 懇談会を開催 (8月26日)

8月26日(月)、当所正副会頭・部会長と小田原市議会正副議長・常任委員会正副委員長との懇談会を、当所の特別会議室にて開催しました。



定期的開催している
小田原市議会との懇談会

冒頭、鈴木会頭から、令和6年度会頭所信と重点項目について説明をいたしました。鈴木会頭は、「人口減少、少子化、高齢化、地球規模で広がる社会的格差など、今までにない環境変化、課題に我々は直面している。このような中、商工会議所は、地域で回るお金を増やすをテーマに掲げている。商工会議所の役割は2つ。一つは、個々の企業の商売を繁盛、個社支援が第一目。二つは、地域で回るお金を増やすをテーマに掲げている。中小企業の活躍できる場の環境整備である、まちづくり、まちづくりについては、

目について説明をいたしました。鈴木会頭は、「人口減少、少子化、高齢化、地球規模で広がる社会的格差など、今までにない環境変化、課題に我々は直面している。このような中、商工会議所は、地域で回るお金を増やすをテーマに掲げている。商工会議所の役割は2つ。一つは、個々の企業の商売を繁盛、個社支援が第一目。二つは、地域で回るお金を増やすをテーマに掲げている。中小企業の活躍できる場の環境整備である、まちづくり、まちづくりについては、

容器もプラスチックが使われています。紙とプラスチックの比較において、環境的にプラスチックが優れているという判断は、どうかは調べてみたいと思います。ということ、今回の印象は日本でもそうかも知れませんが、世界的に見ても、脱炭素への意識と取り組みは、濃淡(というより白黒)のまだら模様であるというのが実態なのではないかと感じました。とすれば、気づき行動し始めた人が、さらに行動と発信を強化し、その動きを横に広げていき、まだら模様を全体的なグリーンアクションにしていく地道な努力しかないと思います。

そして、一番感じたことは社会の分断と格差の広がります。ロスアンゼルスでは陽の当たるところは活況を呈し明るい笑顔が溢れている一方、ホームレスは増え、私の工場があった下町あたりでは昼間でも歩かない危険なエリアが広がっています。

「伊豆湘南道路」の
早期実現に向け
要望活動を実施しました
(8月6日)

神奈川県西部地域と静岡伊豆地域を結ぶ主要な幹線道路である国道1号と国道135号は、観光シーズンの著しい交通渋滞に加え、大雨や高波などによる通行止めが度々発生しており、社会経済活動に影響を及ぼしています。こうした状況を踏まえ、両地域を結ぶ新たな道路として、神奈川県と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)の実現に向け取組を実施しています。去る、8月6日、当所の鈴木会頭は、地元選出の国



関係者で財務省も訪問し要望活動を実施 (8/6)

議員、県内の関係市町村の首長らと早期の実現に向け要望活動を実施しました。

小田原箱根健診クリニック
お食事券付 人間ドック
脳ドック 肺ドック 大腸ドック
全身がん検索「DWIBS」検査
二日酔い、疲労回復、美容と健康に
点滴サロン大好評

小田原駅東口直結 ミナカ小田原7階 TEL.0465-24-0077

伊豆湘南道路の早期実現に向け
要望活動を実施しました
(8月6日)

神奈川県最低賃金が
1,162円に
(10月1日から)

神奈川県最低賃金が
1,162円に
(10月1日から)

神奈川県最低賃金が
1,162円に
(10月1日から)

神奈川県最低賃金が
1,162円に
(10月1日から)

小田原箱根健診クリニック
お食事券付 人間ドック
脳ドック 肺ドック 大腸ドック
全身がん検索「DWIBS」検査
二日酔い、疲労回復、美容と健康に
点滴サロン大好評

伊豆湘南道路の早期実現に向け
要望活動を実施しました
(8月6日)

伊豆湘南道路の早期実現に向け
要望活動を実施しました
(8月6日)

神奈川県最低賃金が
1,162円に
(10月1日から)

小田原箱根健診クリニック | 株式会社 ツーワン | 文化堂印刷株式会社

創業者連載

地域に特化した訪問介護を提供

(株)ラックヘルスケア 代表取締役 矢野 勇樹氏



訪問介護にて要介護者のリハビリを実施する(株)ラックヘルスケア 代表取締役 矢野勇樹氏

今月号の会報では、訪問介護に関する会社を経営する矢野さんをご紹介します。矢野さんは、理学療法士としてのキャリアを持ち、現在は(株)ラックヘルスケアという会社を経営しています。医療職に関心を持つようになったのは、中学2年生の時の経験がきっかけでした。「山登りの際に、倒れ

ている人を看護師である母親と共に救助したことで、医療の重要性を強く感じるようになった」とおっしゃっていました。理学療法士としてキャリアを積んでいた矢野さんは、地域社会でもリハビリが必要とされていることに気付き会社を設立しました。設立時に、商工会議所の窓口を訪ね、経営指導員から創業計画書の作成支援のアドバイスを受けました。

(株)ラックヘルスケアは、地元地域に特化した訪問看護を提供しており、要介護者のリハビリをサポートしています。地域の全ての方の「楽しい」「Luck(幸運)」に繋げたいという理念を掲げています。また地域の高齢者が可能な限り自宅で生活を続けられるような支援がしたいという想いを強く持つていて、その想いを語る矢野さんの目はとても輝いていました。地元への愛着が強く、「自分が生まれ育った地域に貢献したい」という思いが矢野さんの事業の原動力となっています。また、自分の家族や友人たちを安心して任せられるようなサービスを提供したいという強い意志も感じられます。

利用者は、リハビリを通じて、介護認定の段階を軽減するなど効果もみられ、利用者から喜びの声も聞かれます。半年に一度事業計画書の進捗状況の確認と今後の方向性について商工会議所の経営指導員と相談しながら、矢野さんの事業は大きく成長しています。矢野さんは、地域の人々が幸せで充実した生活を送れるよう、日々努力されています。(株)ラックヘルスケアの詳細は、左記のHPを確認ください。

小田原ダイナシティWEST 4階にある小田原箱根商工会議所パソコンスクール

開校中です!! 当所は、小田原市中里のダイナシティWEST4階でパソコンスクールを運営しています。近年、ビジネスを展開するには業種に限らずデジタル化に対応することが不可欠となっていることから、まずはパソコンスキルを向上する支援策としてパソコンスクールを開校しました。スクールの多くは、多くの事業者や従業員の方が個人事業主向け講座や社会人向け講座など豊富なカリキュラムから学習したい講座を学習したい時間で学んでいます。本スクールの運営は、全国にパソコンスクールを展開する株式会社オフィス奏に委託しており、当所の会員ご本人、または従業員は入学金・機器使用料が無料となっています。無料説明会&無料体験講座も実施していますので、是非ご利用ください!

【お問合せ】 小田原箱根商工会議所 パソコンスクール 0465(46)6386

「小規模企業共済制度」のご案内

経営者や役員・個人事業主のための退職金制度

小規模企業共済制度は、個人事業を廃止した時、会社等の役員を退任した時などの生活資金等をあらかじめ積み立てておく、経営者のための退職金制度で約143万人の方が加入しています。

【加入対象者】

個人事業主、共同経営者、会社等役員で、雇用されている従業員(※)数によって判断されます。

【掛金】

月額「1000円」から「7万円」まで範囲内(500円単位)で自由に選択できます。加入後も変更可能です。

【納付方法】

預金口座振替での払込みとなります。払込方法は「月払い」「半年払い」「年払い」から選択できます。

【税法上のメリット】

掛金は全額がその年の「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。例えば、掛金月額最大の7万円が加入した場合、年間84万円の所得控除になります。

小田原市 まちなか緑化助成事業

～まちなか緑化の推進にご協力を～

現在、小田原市では、美しいまちなみ景観と賑わいを創出するため、公開性・視認性があり、質の高い緑化をする方に対して、その経費の一部を助成をしています。

●助成金額

緑化対象経費の2分の1(ただし、15万円を上限) 対象



まちなか緑化助成事業を利用したまちなか緑化の事例

労働者死傷病報告書の電子申請が義務化されます

(令和7年1月1日より)

労働者が労働災害等により死亡し、又は休業したときは、事業者は所轄の労働基準監督署に「労働者死傷病報告書」を提出しなければなりません(労働安全衛生規則第97条)。

労働者が労働災害等により死亡し、又は休業したときは、事業者は所轄の労働基準監督署に「労働者死傷病報告書」を提出しなければなりません(労働安全衛生規則第97条)。

直接電子申請することが可能です。令和7年1月1日からは、労働者死傷病報告書のほか、以下の報告についても電子申請が義務化されています。

【お問合せ】 宮川・神蔵社会保険労務士法人 0465(63)3318

《スポーツを通じてまちづくり》 湘南ベルマーレフットサルクラブ 連携協定を締結しています



当所は、湘南ベルマーレフットサルクラブと人材の育成、確保や社会貢献事業への参画といった地域の中小企業の課題解決のため、湘南ベルマーレフットサルクラブと連携して取り組む人材育成(B・I・S・H・I・N・E)や社会貢献事業についての情報を掲載しています。

【お問合せ】 小田原箱根商工会議所 経営支援一課 0465(23)1811

Advertisement for 'Mozu Dojo' (母指堂) featuring acupuncture and chiropractic services. Text includes '人と医療の間に「全て孝徳の心」' and contact info: Tel. 0465-66-5544.

Advertisement for 'Techno Research' (株式会社テクノリサーチ) for IT services. Text includes 'IT化で未来を開くテクノリサーチ' and contact info: TEL: 0465-48-3398.

Advertisement for 'Techno Research' (株式会社テクノリサーチ) for IT services. Text includes 'IT化で未来を開くテクノリサーチ' and contact info: TEL: 0465-48-3398.

メルマガ会員募集中! 補助金情報等配信中です。詳細は当所HPをご確認ください。

管内定期情報

調査項目	調査月	数 値	対前月比	対前年 同月比	資料提供
小田原市	人口	8月1日現在 186,000人	△40人	△634人	小田原市
	世帯数	8月1日現在 85,536世帯	82世帯	1,114世帯	
箱根町	人口	8月1日現在 10,940人	△5人	△50人	箱根町
	世帯数	8月1日現在 6,542世帯	2世帯	85世帯	
求人求職状況	求人倍率	7月分 0.80	0.04	0.02	ハローワーク小田原
	有効求職者数	7月分 2,484人	51人	10人	
	有効求職者数	7月分 3,109人	△81人	△55人	
天守閣 入場者数	7月	36,862人	△9,836人	△1,257人	小田原市 観光協会

小箱根 & 小田原

トピックス

小田原箱根大博覧会

「なりわい体験」を実施

子どもたちが、地元のなりわいを体験見学

小田原箱根大博覧会のプログラムのひとつ「なりわい体験」では、小中学生を中心に、お仕事やサービスに触れていただくを通じて、小田原・箱根のなりわい(地域に根差した仕事)の紹介と魅力を伝えていきます。今月号では、初参画事業所の体験内容をご紹介します。



店主による花の解説を熱心に聞く参加者

「ゆたかフラワーオブライフ」では、「花屋さん体験&花束作り」を7月26日(金)と7月29日(月)に開催しました。当日は、代表から、花の種類についての解説、花のメンテナンス、パツクヤードにある道具類について説明するとともに、最後は、参加者の個性に合わせた花束作りを皆で楽しみました。

【柴橋商会では、「病院のシーツがきれいになるまで」を8月6日(火)に開催。同社の小田原工場は、本年1月に竣工し、



最新鋭の小田原工場の見学を実施

3月より本格稼働した最新鋭の工場となっており、病院のシーツ等の医療・福祉分野の洗濯物を「仕分け」「仕上げ」「消毒・搬送」の自動化が進められ、さらに衛生的に仕上げられている様子に参加者は興味深く見聞きしていました。



8/22・23の両日で開催した「そろばん親子体験教室」

「そろばん親子体験教室」(8/22・23) 小田原珠算競技大会(8/24)を開催しました

当所が事務局を担う、日本珠算連盟小田原支部では、8月22日、23日の両日、「そろばん親子体験教室」を開催しました。この事業は、児童がそろばんを利用した



8/24に開催した「小田原珠算競技大会」

「小田原ちようちんまつり」が開催されます(10月14日)

歴史に名を残した「小田原ちようちん」をシンボルとした市民参加型の地域イベント「小田原ちようちんまつり」が開催されます。



小田原城址公園二の丸広場にて「小田原ちようちん祭り」や「風魔忍者演武」等が行われるほか、「自治会みこしパレード」が城址公園周辺を勇壮に練り歩きます。

【日時】10月14日(月・祝)12時〜20時15分
【場所】小田原城址公園二の丸広場及び小田原市観光交流センター
【お問合せ】小田原市観光協会 0465(20)4192

会も開催されます。当日券の販売もご用意しておりますので、スポーツの秋に、水レモンバルと併せて、小田原の街へ繰り出してみませんか。
●9月28日(土) 日本体育大学対明治大学



計算法を学べる場を提供し、「計算力」はもとより「忍耐力」「集中力」の向上や、そろばん文化の普及、継承を図ることを目的に開催をしています。当日は、楽しく親子でそろばんを学ぶ光景が印象的でした。

2025年日本国際博覧会 大阪・関西万博 割引チケットの販売 EXPO 2025

2025年4月13日から10月13日(184日)の期間で、大阪・関西万博が開かれます。日本政府や大阪府・民間企業などの国内パビリオン27施設のほか、海外パビリオンも独自のデザインを施した建物や展示スペースを準備し、環境技術の発信や空飛ぶクルマなど次世代の移動手段が行き交う「未来」を体験できます。

小田原・箱根「木・技・匠」の祭典(11月16日・17日)が開催(11月16日・17日)

11月16日(土)と17日(日)の両日に、小田原三の丸ホールと観光交流センターで、小田原・箱根の木工の技術と魅力が一室に集結する「小田原・箱根「木・技・匠」の祭典」が開催されます。

【木工職人の道具展】日常的に使用される道具の展示とともに、二次元コードを使って道具の「音」を体験できる。
【お問合せ】小田原・箱根「木・技・匠」の祭典実行委員会事務局 (一社)箱根物産連合会内 0465(32)5252

小田原・箱根「木・技・匠」の祭典

2024 木エ-1グランプリ 作品展開催! 121点展示

11月16日(土) 10:00~18:00
11月17日(日) 10:00~16:00
小田原三の丸ホール 入場無料

※青空木工市、からくり箱展示会&体験コーナーは両日16:00まで

こんなもの作りたい!を実現します。

- ☆設計から据付まで、あらゆる機械設備をオーダーメイドでお作りします。
- ☆ステンレス・鉄・アルミ等、各種素材を高精度に加工します。
- ☆何十 ton もある重量物も精密機器も高精度に据付します。
- ☆ステンレス・塩ビ・SGP等あらゆる用途に応じた配管を敷設します。
- ☆各種機械メンテナンスや生産ラインの突発的トラブルに対応します。

創業76年のノウハウをフル活用! まずはお電話下さい!

soyo 相陽工業株式会社

南足柄市狩野 493
TEL: 0465-74-1145
URL: soyokogyo.jp
【建設業大臣許可取得】

うまし、あたたし、おもしろし

鈴廣 かまぼこの里

箱根登山線 風祭駅下車すぐ

お問合せ 0120-07-4547
kamaboko.com

Eco対応 環境保護印刷

事業繁栄の 切り札

知りたいを 伝えたい!

ishibashi printing ip 石橋印刷

Tel.0465-47-9171(代)
Fax.0465-48-2411
〒250-0876 小田原市中新田9-3 E-mail/info@i-print.jp